

北上産業地業務団立地協定調印式



北上市相去町の北上産業地業務団地（オフィスアーリカディア・北上）に物貯倉庫を建設している鋼訓光代表取締役社長）と

板加工販売の根津鋼材（本社東京都荒川区、資本金4500万円、根津訓光代表取締役社長）と

北東北の物流拠点を目指す

根津鋼材が立地

市は2日、市役所で企業

る。

立地協定調印を行った。倉庫は「北上物流センター」として年明けの1月5日に操業開始を予定。

県内を中心青森、秋田両県を含む北東北の物流拠点として業務を展開する。

同社は1937年創

業、67年に法人化した。

98年、北上市大通りに岩手営業所を開設。201

6年8月期の売上高は1

07億円。岩手営業所は

北東北3県と宮城県北部の板金加工メーカーを中心

に80～100社（県内

40～50社）と取引があ

る。設備投資額は市から

の土地取得費、建物建設

費などを含めて約2億円。地元から新たに3人ほどを雇用する。

福島県内の工場で加工された製品を北上でスト

調印後、握手を交わす（左から）高橋議長、高橋市長、根津社長、十良澤担当課

ックし、迅速に配達す

る。根津社長は「北東北のお客さんに短納期、少

やせれば」と述べた。

調印式で、高橋市長は「心より歓迎したい。北

議会議長、県の十良澤福

志企業立地推進担当課長

が祝辞を寄せた。

ロットで対応し、サービスを向上させたい。われわれが納めるメーカーの業績アップに寄与できれば」と話した。

会社全体では自動車関連で売上の約半数を占めるが、北上は「運送主体だけに、自動車加工業者からも物流面で仕事を増やす」と述べた。

東北の物流拠点という位置付けで、この地を拠点にさらに発展を」と期待した。根津社長は「北上に念願の倉庫を建設でき感謝している。岩手、北上に産業発展に貢献できるよう根付いていきた

い」と抱負を述べ、がつちりと握手。高橋穏至市